

学びと成長のオンライン空間

「明専スクール」

電子ID 久恒 正希



●はじめに

明専スクールは、就職が内定した学生を支援するプログラムです。彼らは社会人をスタートするにあたり、多くの不安を感じています。明専スクールに参加することで、その不安を吹き飛ばして自信を持って新しいキャリアをスタートできるように、そして入社後にはスタートダッシュで迅速に成果を上げ、「九州工業大学出身者は優秀だ！」と認識されるようにとの思いで、明専会の先輩たちは卒業を控えた後輩たちの成功をサポートするために力を尽くしています。

2019年までは対面形式で開催

してきました。2020年はコロナ禍で中止となりましたが、2021年からは、オンライン形式で再開しています。

2023年の明専スクールは、10月14日(土)／10月28日(土)／11月11日(土)の3日間、オンライン形式で開催されました。新型コロナウイルスの影響が未だ残る中、安全を最優先にしながら卒業予定の学生たちに教育の場を提供するため、さまざまな工夫が施されました。

就職が内定した学生のうち、各学部・学科から19名が参加し、グループディスカッションでは、4チームに分かれて課題に取り組みました。

●明専スクールの進化

オンライン教育が一般的になる中で、過去数年間にわたって明専スクールもオンラインで実施しており、オンライン開催のノウハウを蓄積してきました。情報共有にはSlack、グループ討議にはZoom、資料共有

にはGoogleドライブなどのツールを使うことで、明専スクールのスムーズな運営を実現できました。

明専スクールのカリキュラムは講義とグループディスカッションの2部構成です。

講義では、西尾先生による「明専九州工大の歴史」、レゴランドジャパン(元トヨタ自動車九州)吉田様による「海外事業を含めた企業活動事例」、北九州市立大学(元安川電機)石橋様による「企業における知的財産」の話題を取り上げ、非同期型でいつでも視聴可能なコンテンツとし



非同期型コンテンツ「明専～九州工大の歴史」

てYouTubeのシステムを利用して提供しました。また、明専スクール初日には、浅部様(野村総研)に企業とは何かを考える同期型講義を実施いただきました。

グループディスカッションのセッションでは、「学生時代にチーム活動に参加し、具体的な解決策を見出す体験を通じて、社会人として企業理念の実現に主体的に貢献する」という目的を掲げ、企業理念の実現に向けたイノベーションの事例研究を行い、企業の中で「技術に堪能なる士君子」としてどう行動していくかを議論し、その成果を発表しました。

グループ毎にイノベーションを実現するための戦略を模索し、この過程で、チームワークの重要性と、多様な意見をまとめ上げる力が鍛えられました。最終的には、各グループの発表が、受講生間での知識の共有と互いの理解を深める貴重な機会となりました。

グループの中には、2022年末に一般公開されたChatGPTを活用し、現実世界の複雑な問題に対して、AIと協働しながら解答を導き出すグループもありました。世の中ではセキュリティの問題やChatGPTの

● **成果**

利用を制限する企業もありますが、新しいテクノロジーを積極的に導入していくことの重要性を探索していただきました。

受講生からは、オンライン形式による学習の柔軟性や、新しいツールを使った学習スタイルに対する肯定的なフィードバックが寄せられました。



グループディスカッションの様子



懇親会の様子

た。グループディスカッションの成果報告では、それぞれの班が独自の視点からイノベーションについて深掘りし、企業理念の実現に貢献するそれぞれ独自の具体的な提案を行いました。

さらに、初日と最終日の18時からオンラインでの懇親会を開催しました。この懇親会では、デリバリーサービスを利用して提供された食事

や飲み物を楽しみ、日常生活に関する話題や学生の今後の目指す姿など、さまざまな話題で受講生とスタッフが交流を深めました。直接会っての交流には劣るものの、九州工業大学という共通のつながりがあるので、すぐに和気藹々とした雰囲気になり、活発な会話が交わされました。

● **明専スクールの学びと今後の展望**

2023年の明専スクールを通じて、受講生は新社会人として必要なスキルだけでなく、未来の働き方に適応するための能力を身につけました。また、ChatGPTなどのAI技術を活用することで、より効率的な問題解決が可能になることを学んだグループもありました。今後も、明専スクールは時代の変化に対応し、学びの内容を進化させていくことが期待されます。

● **最後に**

オンライン形式での開催にも関わらず、多くの受講生が積極的に参加し、講師や指導員との交流を深めることができたことを嬉しく思います。受講生、講師、スタッフの皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。明

専スクールがこれからも新しい時代にマッチした学びの場として、さらに発展していくことを願っています。

明専スクールの内容、受講生、指導者の明専会報への寄稿は明専会ホームページに掲載していますので、左記URL、QRコードからアクセスしてご覧ください。



<https://www.meisenkai.or.jp/support/meisen-school/>

(株)安川電機



講師、スタッフ、受講生の皆さま